

# 平坦地における水稲乾田直播栽培(ヒノヒカリ)の窒素施用法

農業研究部・水田農業グループ

## 1. 研究の背景

水田農業において米価下落などに対応するため生産費低減が課題であり、育苗や代かき作業が不要な水稲乾田直播栽培が注目されている。そこで、麦類との輪作体系における窒素施用法について検討した。

## 2. 研究成果の内容・普及のポイント

6月上旬播の水稲乾田直播栽培(品種ヒノヒカリ)において、肥効調節型肥料を基肥に全量施用することで、速効性肥料の分施体系より生育・収量が上回り、移植栽培と同程度の収量が得られる。

【肥料の違いと水稲の生育収量】

平坦地における乾田直播栽培は、シグモイド型120日タイプ(100%)、またはシグモイド型60日タイプ：シグモイド型120日タイプ(20:80)を基肥に窒素8kg/10a全量施用することで、移植栽培と同程度の生育収量が得られる。

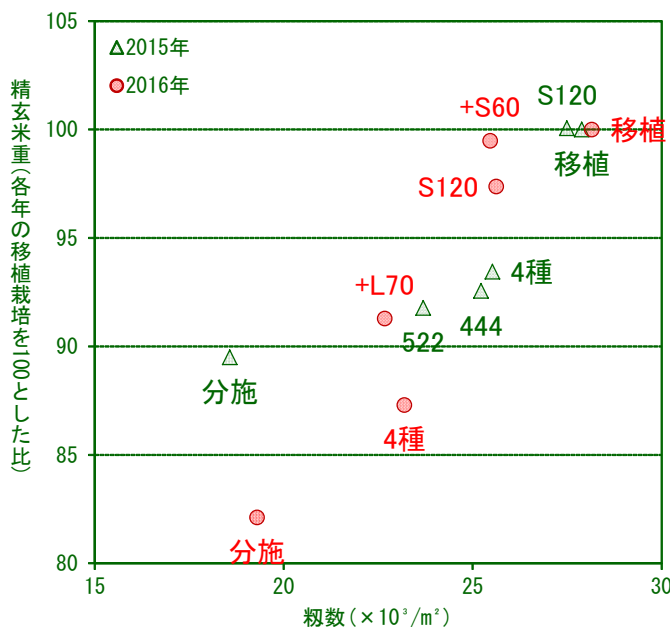


図1 粒数と精玄米重の関係

年	凡例	窒素施用量(kg/10a)・肥料名
2010年	分施	8・即効性化成肥料(基肥3-分けつ肥2-穂肥3)
	522	8・EMコート522(速効性:S120=50:50)
	444	8・LPコート入り複合444-D80号(速効性:L100=14:86)
2015年	S120	8・LPコートS120
	4種	8・LPコートS30・S70・SS100・S120(4種等量配合)
2016年	分施	8・速効性化成肥料(基肥3-分けつ肥2-穂肥3)
	S120	8・LPコートS120
	+L70	8・LPコートL70:LPコートS120(L70:S120=40:60)
2016年	+S60	8・LPコートS60:LPコートS120(S60:S120=20:80)
	4種	8・LPコートS30・S70・SS100・S120(4種等量配合)
	移植	7・速効性化成肥料(基肥4-分けつ肥0-穂肥3)

注1)Sはシグモイド型、Lはリニア型の溶出タイプを、数字は各肥料が80%以上溶出する日数を示す。  
 注2)肥料名の( )は施肥時期あるいは配合割合を表す。  
 注3)522、444以外はPKを基肥に6kg/11a施用した。



図2 乾田直播区の生育状況(2016年10月9日)  
(施用肥料 S60:S120=20:80)

## 3. 期待される効果

水稲乾田直播栽培の生産安定に寄与できる。

## 4. 担当機関連絡先

農業研究部 水田農業グループ 水田農業チーム  
 TEL : 0978-37-1160 住所 : 宇佐市大字北宇佐 65